

地球温暖化対策実施状況報告書

2021年 6月 21日

（報告先）
横浜市長

住所 北海道札幌市中央区大通東3丁目1-19

氏名 株式会社カナモト
代表取締役 金本 哲男

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社カナモト 代表取締役 金本 哲男				
事業者の主たる 事業所の所在地	北海道札幌市中央区大通東3丁目1-19				
主たる事業の業種	大分類	K 不動産業、物品賃貸業			
	中分類	70 物品賃貸業			
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/> 条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/> 規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/> 地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	134 台

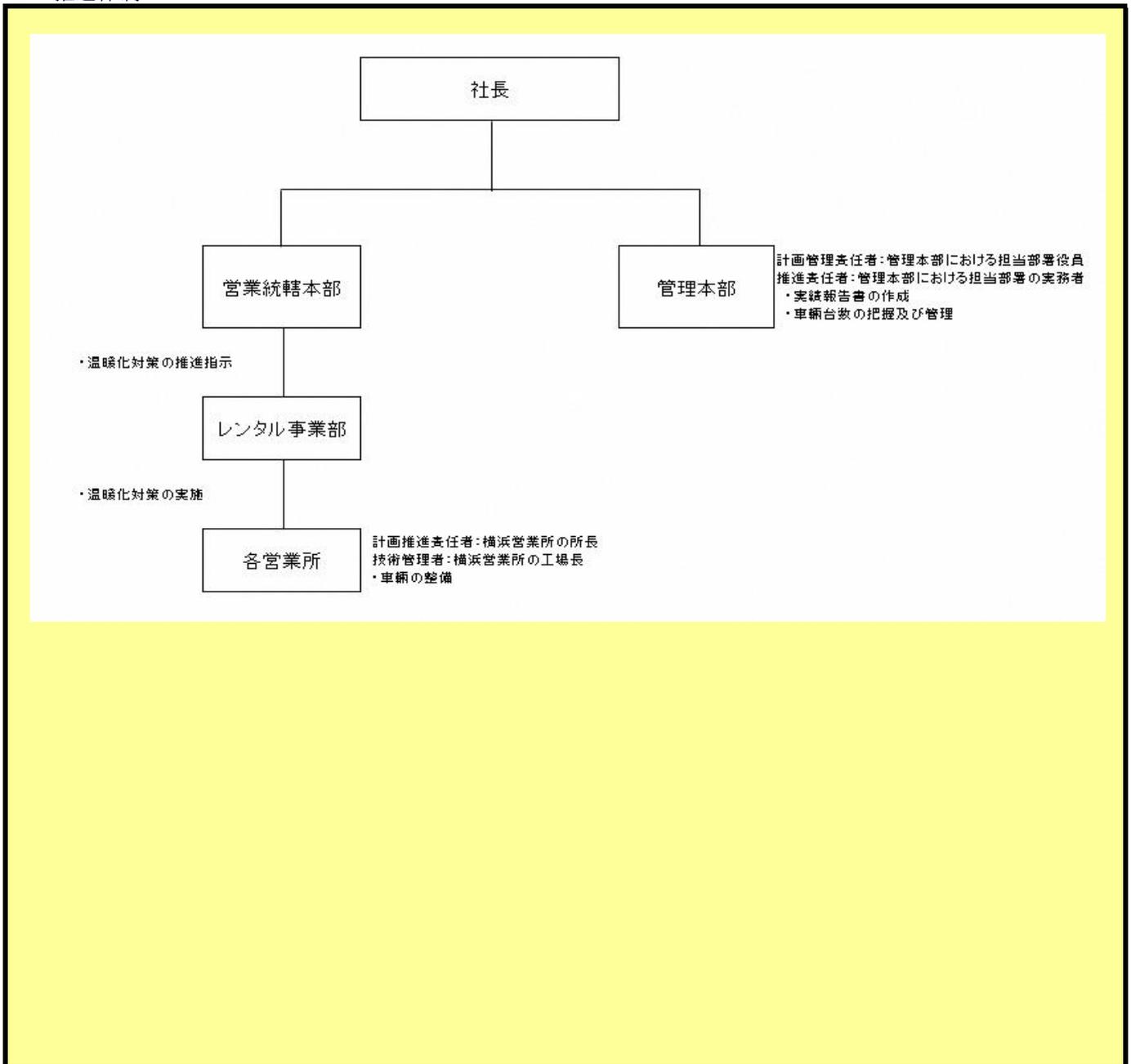
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2018 年度 ~ 2020 年度	実施年度	2020 年度
------	-------------------	------	---------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

[基本方針] 1. 営業本部を中心とした地球温暖化対策推進体制の整備 2. 温室効果ガス排出量の削減の為に目標値設定 [主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] 1. 目標削減率に基づく車両管理の実施 2. 定期的な保守点検の実施
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社 カナモト 本社
	所在地	北海道札幌市中央区大通東3丁目1-19
	閲覧可能時間	8:30~17:00 (土・日・祝を除く)
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2017年度)	基準排出量	331 t-CO ₂			基準原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	331 t-CO ₂			目標原単位	t-CO ₂ /	
目標年度 (2020年度)	目標排出量	306 t-CO ₂	削減率	7.6 %	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	弊社は建機レンタルを主体として業務を行っていることから、レンタカー使用による排出が主となっています。よって、主な排出に関する対策は車輛製造メーカーに依存する部分が多いため、積極的な排ガス対策車及び低燃費車の導入を推し進め上記目標を達成したいと考えます。						
事業者全体としての目標等							
第一年度 (2018年度)	排出量	299 t-CO ₂	削減率	9.7 %	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	299 t-CO ₂	削減率	9.7 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	古い車両の売却、新規購入車両を低燃費車の導入としたため、数値が下がっています。						
第二年度 (2019年度)	排出量	331 t-CO ₂	削減率	0.0 %	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	331 t-CO ₂	削減率	0.0 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	稼働日数増加により、温室効果ガス排出量が増えましたが、新規での導入車両については低燃費車を導入しております。今年度の実績では16台減車、16台増車となり、全体の13%が新車となっております。今後についてはE T Cやナビの導入強化により排出量削減に取り組んでいきます。						
第三年度 (2020年度)	排出量	383 t-CO ₂	削減率	▲ 15.7 %	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	383 t-CO ₂	削減率	▲ 15.7 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	昨年と比較してコロナの影響により稼働が抑えられていた現場が始動したことによる走行距離の大幅な増加により排出量が増加したと考えられます。						
計画期間全体の排出状況に関する説明	2018年度は、車両の入替時に低燃費車を採用したため、排出量を抑えることができました。2020年度においては、入替時に低燃費車を採用することは継続して行っているものの低稼働であった前年度をカバーする形で排出量が増加したことが考えられます。						

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
普通貨物自動車	54	124	51	123	51	140	52	127
小型貨物自動車	77	163	66	133	64	143	64	193
大型バス								
マイクロバス		0						
乗用自動車	6	15	8	16	10	26	18	63
合計	137	302	125	272	125	309	134	383
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)	38.6	%	41.6	%	35.1	%	34.1	%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1		年度			
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の自動車利用から公共交通機関利用への誘導 ・冷暖房の設定温度（夏季28度、冬季20度）に徹底 ・再生紙の利用 ・営業所内のごみの分別を強化し、再生化につとめる
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の自動車利用から公共交通機関利用への誘導 ○ペーパーレス（承認書等の電子化） ・冷暖房の設定温度（夏季28度、冬季20度）に徹底 ○再生商品の購入を推奨 ・再生紙の利用 ・営業所内のごみの分別を強化し、再生化につとめる
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・再生紙の利用 ・営業所内のごみの分別を強化し、再生化につとめる ・帰宅時間を早める（ノー残業デーの導入）
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・残業削減のために社内オンラインシステムの制限時間を設ける ・入在庫管理システムの導入（QRコードタグ採用）
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・再生紙の利用 ・帰宅時間を早める（ノー残業デーの導入） ・蛍光灯をLEDへ入替 ・エアコンへファン取付

14 実施状況等に対する自己評価

走行距離の大幅な増加により温室効果ガス排出量が増えましたが、低燃費車両の導入は継続して行っております。また、再生紙の利用や蛍光灯を順次LEDへ入替するなど環境対策も行っております。